

## 平成22年度 土木学会建設マネジメント委員会で受賞

土木学会建設マネジメント委員会（小澤一雅委員長）は、平成22年度に建設マネジメント分野の学術的・技術的・実務的な発展に貢献した個人と団体に対する表彰制度を創設、今回は、第1号となる受賞者を決定し、表彰した。

表彰制度では、「論文賞」と「優秀講演賞」、そして建設マネジメントの実務で創意工夫に富んだ意欲的な取り組みに授与される「グッド・プラクティス賞」の3部門を設けている。

北海道からは、3部門で4つが受賞し、特に「グッド・プラクティス賞」では、北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会（委員長・高野伸栄北大大学院准教授）の住民参加型総合評価方式の取り組みと、稚内建協（藤田幸洋会長）が進めてきた「稚内ワッコールプロジェクト」が受賞。同賞では、北海道が独占するなど、北海道の先駆的な事例が高い評価を受けた。

### 1) 論文賞

「公共工事入札における住民参加の可能性に関する研究」

### 2) 優秀講演賞

「総合評価方式における技術提案の審査方法に関する研究」

### 3) グッド・プラクティス賞

「稚内ワッコールプロジェクト」

「公共工事入札における住民参加入札の実験」



写一 表彰式・受賞論文紹介状況（平成23年8月11日 土木学会講堂）